

私たちを繋ぐのは「農業」 ～農業女子，集まれ～



仙台市では女性農業委員・農地利用最適化推進委員と女性農業者による女子会を開催している。回を重ねて4回目の2月18日は、料理教室を企画し、13名が参加した。

会場となった仙台市若林区の加藤和江農業委員の自宅で、米粉と伝統野菜の仙台雪菜を使った仙台味噌味のピザや、青菜の米粉おやきなど、地元の食材を使ったメニューに挑戦。参加者からは「また参加したい」「さっそく家で作ってみます」などの声が聞こえた。

参加者の年齢層も住所もまちまちだが、農業という共通の話題ですぐに話が盛り上がる。家族経営の女性農業者は孤独になりがちで、各自の悩みや課題、知識や情報の共有など、女性同士の話は尽きない。



高山真里子農地利用最適化推進委員は「こういった活動を通じて、農業者の先輩や若い担い手との縦の繋がり、若い農業女子同士の横の繋がりが広がってほしい」と話す。加藤農業委員も「これからも、地域農業の活性化に向けて活動を続けていきたい」と笑顔で語った。